



優秀賞 (総合部門)

タイトル

下谷上の家 バリアフリー改修

タイプ

持家一戸建

講評

バリアフリーをキーワードに農家を一変させた。広く、連続する空間を贅沢に使うための統一のルールが床面のフラット化であり、これにより、当初ばらばらだった空間を創作的に再編成することに成功している。木の質感もよい。

リフォーム前後の写真

なやぶんしんちくねんがっぴしょう

しょうわ5ねんいちく

おもやしょうわ26ねんしんちく

しょうわ44ねんだいどころりふおーむ

へいせい7ねんはんしんだいしんさいほしゅう・がいこうかいしゅう



リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《リフォームの動機》

・まだ50代の若いご主人が、感染症により下半身が不自由になる大きなハンディを抱えることになった為、段差の多い農家型住宅をバリアフリーで、快適な住まいとし、併せて、2世帯住宅にも対応できるようにする。

《設計・施工の工夫点》

本家の機能としての、続き間の座敷は既存のままとし、水回りを寝室に近接させる必要があるため、既存の浴室に接したLDKを寝室とし、昭和初期に移築されて、今は物置と

特に配慮した住宅性能： 主屋ともスロープでつなぎ、ひなたぼっこのためのウッドデッキや駐車場にも車いすでの移動を可能にし、浴室・トイレにはリフトを設置した。既存住宅はトイレや寝室への移動にも靴が必要であったが、すべてを上履さすの空間に改善した。

データ

所在地	兵庫県神戸市	構造/築後年数	在来木造/92年
該当工事面積	233 m ² /総工事床面積 233 m ²	該当部分工事費	3,950 万円/総工事費 3,950 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 3人/65歳以上： 人/15歳未満： 人/ペット： 人		
設計会社	長谷川建築設計事務所	担当者	長谷川 清
施工会社	(株)久保田組	担当者	久保田 壽邦

なっている2mほどの天井高の2階の床を取り払い、農家用倉庫と馬小屋だった部分に、寝室と同じ高さの床を造り、2階と併せて大空間の吹き抜けを持つLDKにした。以前のリフォームで覆われていた壁をはがすと、すすまみれた黒壁が見つかり、寝室の壁のアクセントに利用した。また天井を取り小屋裏の空間を現した。

《施主の感想など》

むかしの材料を再利用し、懐かしさがありながら、自分の家とは思えない新しさと快適な空間がうれしい。

リフォーム前

リフォーム後

